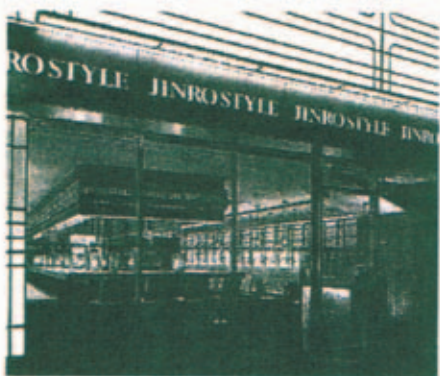


ウーマン アイ

ファッションと焼酎



銘柄「森伊蔵」や「魔王」のヒット以来、焼酎が活気づいている。そのけん引役として、若い女性の存在は見逃せない。意外と知られていないようだが、甲類と呼ばれる種類の焼酎では、売れ筋トップクラスは韓国「JINRO」だという。

のどしがよく、どんな料理にも合いやすい点（しょうちゅう）の市場が、特に女性に受けているらしい。日韓共同開催のワールドカップを目前にして、いろいろな分野で韓国ブームが起こりつつあるのも追い風だ。

例えば「JINRO GARDEN（ジンロ・ガーデン）」。真露ジャパ

Oをベースにしたカクテルを多数そろえている。

昨秋、名古屋栄にオープンした「JINRO

STYLE CAFE

（ジンロ・スタイル・カフェ）写真も話題だ。プロデュースしたのは若者

向けの飲食店を展開して

いるゼットン（名古屋市）

の稲本健一社長。センス

を生かし、おしゃれな雰

囲気を醸し出している。

デフレ時代。安くて二

日酔いしにくいといった

焼酎本来の実利性だけで

は、もはやそれほど注目

されないかもしれない。

しかし女性の支持を得た

ことで、焼酎は華やかな

イメージをまとうことに

成功した。

もっともファッション

感覚が強まれば、意外に

早く飽きられるリスクも

はらむ。新しいものにど

ん欲なだけに、女性たち

の支持の行方がシビアな

ことは間違いない。

（食チャンネル）プロデ

ューサー 矢幡 聡子

ン（東京）が東京・新宿南口の若者が集まる小田急サザンタワービルに開いた。百五十席ほどの店内は連日、OLや恋人連れでにぎわう。手軽な韓国料理に加え、JINRO